

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終る2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プロロジスパーク茨木プロジェクト	階数	地上6F
建設地	北部大阪都市計画事業国際文化都	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	2,152 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年9月 予定	評価の実施日	2015年3月27日
敷地面積	80,244 m ²	作成者	清水建設株式会社 野上雅也
建築面積	32,630 m ²	確認日	2015年3月27日
延床面積	189,742 m ²	確認者	清水建設株式会社 林孝司



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.0 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算
 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

LR のスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 本計画は市街地からやや離れた郊外に位置する物流倉庫の新設計画である。生物環境の創出をおこなうため、緑地を豊富に計画し、周辺の景観や生物環境に配慮した計画としている。また、外壁には断熱性能高い外装材を採用し、熱負荷の低減を図るなど省エネルギーにも配慮した計画である。	その他 特になし。	
Q1 室内環境 ・内装吸音材を2種類採用。 ・内装にはF☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用。	Q2 サービス性能 ・十分な階高、空間のゆとり、リフレッシュスペースを確保。 ・耐用年数に配慮した内装材を採用。	Q3 室外環境(敷地内) ・外構部分に緑地を積極的に計画。 ・景観協議を実施し周辺との景観調和に配慮。
LR1 エネルギー ・断熱性能の高い躯体構成及び建築材を使用。 ・LED照明等を採用し設備システムの高効率化を実施。	LR2 資源・マテリアル ・主要水栓の過半以上に節水器具を採用。 ・建物へのリサイクル材の積極的な採用を実施。	LR3 敷地外環境 ・十分な駐車場を確保し、周辺道路への交通負荷低減に配慮。 ・屋外照明や広告物照明は光害に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】		建物名称	プロロジスパーク茨木プロジェクト	
		建設地	北都大阪都市計画事業国際文化都市特定土地区画整理事業地区内中部地区D3-1街区(旧住所:大阪府茨木市大字宿久庄237-2)	
		用途/区分	工場 事務所	
【評価結果】	CASBEE 総合評価	★★★★☆		A
	CO2削減	★★★★☆		4
	省エネ対策	★★★★☆		4
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★☆		3
エネルギー消費量の報告				報告しない
【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目		評価内容	スコア	評価
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.8	4
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 3.0 住戸・宿泊	4
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.5	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.5	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.4	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
その他				
		技術の名称	考慮事項	
先進的技術の導入		太陽光発電設備の導入	日照条件の良い屋上に設置	
特に配慮した事項		豊富な敷地内緑化によるヒートアイランド対策を実施		